

Rotary International District 2570

Governor's Monthly Letter



No.11 1st May 2011

「現場力」で正念場を乗り越えよう！

クラブ奉仕部門委員長 井花 富男

ガバナー
月信

2011年5月1日
第11号

—“読みたくなる”月信— それは私のロマン

ガバナー 西川 武重郎



今から15年前の大館年度（1996－97）の「ガバナー月信」4月号に、

「『ロータリーの友』という立派な機関誌が毎月、私どもの手元に届いてまいりますが、ある調査によりますと、熟読される方が17%、拾い読みされる方35%、あとは目を通す程度、あるいは積読の方という淋しい数字が出ております。皆様『読まれざるベストセラー』などという汚名は返上しようではありませんか」

と、当時の大館ガバナーが書かれた文章がありました。それを読みながら、今も昔もあまり変わらないと思いました。

ガバナーになると、『ロータリーの友』7月号に新ガバナーの横顔として全国の34名のガバナー全員が写真入りで紹介されます。もちろん私も紹介された訳ですが、その記事を読んで、昭和41年私が社会人になってともに机を並べた友から電話があり、「あそこに写っていた西川はやはりお前だったのか」という懐かしい声を聞き胸が熱くなりました。共に働いた会社が入社3年目に倒産し、それ以来彼とは一度も会っていませんでしたが、42年ぶりに福島の地区大会の会場で再会を果たすことができました。素晴らしい再会を取り持ってくれた『ロータリーの友』に感謝です。

私の手元に第2780地区大磯ロータリークラブの、河本親秀パストガバナー時代の「ガバナー月信」合本があります。大磯ロータリークラブは、志木ロータリークラブの姉妹クラブである小諸ロータリークラブと姉妹関係を結んでいるので、この頃3クラブ合同で行事を行うことが増えてきました。私がガバナーになって3クラブともガバナー輩出クラブになりましたが、それを記念し私に河本パストガバナーがガバナー月信の合本を送って下さいました。その合本を見て、河本パストガバナーと大館パストガバナーが同期のガバナーであることを知りました。

今、月信を書くにあたり両先輩の月信を読み、勉強させて頂き、お二人の素晴らしい内容と文章に心打たれていますが、正直に申しますと大館ガバナー年度に書かれた月信をその当時読んだ記憶がほとんどありません。大館パストガバナーごめんなさい。

罪滅ぼしに大館パストガバナーが書かれた、「皆様読まれざるベストセラーなどと云う汚名を返上しようではありませんか」という文章を、再度ここに書かせて頂きました。



2月11日ロータクト全国大会にて、右：大野地区幹事 左：ガバナー月信担当内山地区副幹事

「利他のところで行動する」人としての 美しさを見ることができました。

ガバナー 西川 武重郎



このたびの東日本大震災を通し、私たち人間は大自然の猛威の前では悲しいほど無力であることを知りました。

石原慎太郎東京都知事が「天罰」という言葉を使い^{ひんしゆく}輦轡を買いましたが、人間が地球の環境を自分たちの意のままになるかのように考え、生態系を破壊したことに対する「天罰」とするならば、間違っているとは思えません。

地区大会中止のために、黒田RI理事より「RIの現況報告とRI理事としての意見」というレポートが各クラブに送っていただいています。是非皆様お読み下さい。その中に「人は生かされ、生きている」という言葉があります。まさに私たち人間は自然の摂理の中で生かされている存在なのだということを、この悲劇を通して再認識すべきなのです。

この深い悲しみの中でも心暖まるできごともありました。避難所の中で自主的に立ち上がりボランティアを続ける子ども達の笑顔、悲惨な状況にありながら、秩序正しく行動する被災者の皆様、これらの方々の中に「利他のところで行動する」人としての美しさを見ることができました。

今被災者の皆様は深い悲しみの中から復興への努力を始めようとされています。私たちロータリアンはまさに今、その人達とともに手を取り合い、新しい素晴らしい世界を創るために汗を流す時がきたのだと思うのです。

ここで第2570地区の動きをお知らせ致します。

まず取り急ぎ、3月15日に1,000万円をガバナー会に送らせて頂きました。福島県双葉町の皆様が避難している加須市は第2570地区のテリトリーであり、また、多くの方々が埼玉県に避難されておられます。その方々のために埼玉県を通して義援金を送るべく1,000万円を用意しました。現在当地区の各ロータリークラブより地区に送られてきた義援金が1,000万円強ありますので、これらを含め長期化するであろう復興への支援に使わせて頂きます。

これからは心のケアも大切になると思います。何かアイデアがありましたら、是非お知らせください。

「がんばるぞ第2570地区」を合言葉に、ともに復興のために汗を流しましょう。

■ガバナー会・義援金

東日本大震災により被災された方々への義援金4月1日現在の募金状況を報告致します。

3月31日 東京ガバナー会事務局においてガバナー会議長上野操、ガバナー会副議長辰野克彦、ガバナー会副議長後藤定毅が集まり、取りあえず現段階での被災地区、義援金の配分方法、当面の見舞金等について検討致しました結果、下記の通り決定致しました。

尚、当日はRI2790地区織田吉郎ガバナーにオブザーバーとしてお越しいただき、参考意見をお伺いしました。

記

D	区 域	ガバナー	義援金額
2500	北海道東部	柴田 和明	12,555,065
2510	北海道西部	佐々木 正丞	
2520	岩手・宮城	楢山 直樹	
2530	福島	大橋 廣治	
2540	秋田	地葉 新司	2,313,000
2550	栃木	瀬下 龍夫	
2560	新潟	東山 昶也	
2570	埼玉西部	西川 武重郎	10,000,000
2580	東京・沖縄	上野 操	70,000,000
2590	神奈川 横浜・川崎	川野 正久	8,772,434
2600	長野	綿貫 隆夫	13,923,100
2610	富山・石川	崎山 武夫	
2620	山梨・静岡	中山 正邦	20,754,035
2630	岐阜・三重	桑月 心	18,119,936
2640	和歌山・大阪府の一部	米田 眞理子	
2650	福井・滋賀・奈良・京都	栗田 幸雄	12,000,000
2660	大阪	松本 新太郎	
2670	香川・愛媛・徳島・高知	亀井 義弘	10,595,959
2680	兵庫	柴田 整宏	16,141,564
2690	鳥取・島根・岡山	小林 完治	21,410,786
2700	福岡/鳥栖・杵岐・対馬	原田 光久	17,050,005
2710	広島・山口	前田 茂	39,915,731
2720	大分・熊本	木下 光一	
2730	宮崎・鹿児島	伊藤 学而	8,944,915
2740	佐賀・長崎	高原 武彦	12,500,905
2750	東京・マリアナ諸島他	辰野 克彦	50,000,000
2760	愛知	田嶋 好博	23,820,340
2770	埼玉南東	井橋 吉一	18,024,853
2780	神奈川	後藤 定毅	
2790	千葉	織田 吉郎	10,000,000
2800	山形	塚原 初男	7,044,000
2820	茨城	山崎 清司	
2830	青森	中村 義弘	3,000,000
2840	群馬	福田 一良	5,000,000
3340	ラタクル会経由 ピチャイ・ラタクル元RI会長		1,000,000
		合計	412,886,628

4月1日現在集まった義援金のうちから見舞金として下記の通りの金額を送金。

- ◇RI2520地区(岩手・宮城)に 5,000万円
- ◇RI2530地区(福島)に 3,000万円
- ◇RI2820地区(茨城)に 1,000万円
- ◇RI2550地区(栃木)に 500万円
- ◇RI2790地区(千葉)に 500万円

■第2570地区・義援金

		義 援 金			
クラブ名	会員数	振込み	登録料寄付	計	
第1グループ	川越	84	1,000,000	148,000	1,148,000
	東松山	35	1,010,000	200,000	1,210,000
	小川	11		74,000	74,000
	坂戸	25			
	越生毛呂	27		38,000	38,000
	川越小江戸	16	160,000	72,000	232,000
	川越西	14			
	鶴ヶ島	28			
	川越中央	32	100,000	36,000	136,000
	坂戸さつき	21			
第2グループ	東松山むさし	35	100,000	38,000	138,000
	朝霞	35			
	ふじみ野	16			
	志木	50	2,500,000		2,500,000
	富士見	45			
	新座	28			
	和光	20	500,000		500,000
	朝霞キャロット	12	200,000		200,000
	志木柳瀬川	11	200,000		200,000
	新座こぶし	16	1,000,000		1,000,000
第3グループ	入間	45	1,000,000		1,000,000
	所沢	59		56,000	56,000
	飯能	57	100,000		100,000
	狭山	20	200,000		200,000
	新所沢	26	16,000	92,000	108,000
	日高	28	100,000		100,000
	所沢西	43	1,000,000	84,000	1,084,000
	新狭山	26	233,000	10,000	243,000
	所沢東	39		56,000	56,000
	入間南	35	125,000	92,000	217,000
第4グループ	所沢中央	36	428,000	72,000	500,000
	狭山中央	32	200,000	92,000	292,000
	深谷	58	1,170,000	56,000	1,226,000
	本庄	67	600,000		600,000
	秩父	52			
	寄居	36			
	児玉	11	100,000		100,000
	岡部	19	100,000		100,000
	深谷東	69		92,000	92,000
	上里	8		36,000	36,000
第5グループ	川本	12	100,000		100,000
	皆野・長瀬	18	140,000		140,000
	本庄南	20		74,000	74,000
	深谷ノース	34			
	熊谷	89		20,000	20,000
	行田	55			
	羽生	37			
	加須	38			
	熊谷西	21	100,000	56,000	156,000
	行田さくら	39		20,000	20,000
	熊谷東	33		36,000	36,000
	吹上	12		92,000	92,000
	熊谷籠原	26		36,000	36,000
	熊谷南	28	306,369		306,369
	合計	1,789	12,788,369	1,678,000	14,466,369

西川武重郎 1,000,000

2011年4月17日現在

RI第2570地区内クラブ会長の皆様へ

2009 - 11 年度 国際ロータリー理事 黒田 正宏



3月11日(金)に発生した東日本巨大地震・津波とそれに続いた原発事故で被災された皆様、またそのご家族や知人の方々に対してお見舞い申し上げます。私自身も地震発生時には診察していた患者の避難誘導で一時は死を覚悟しましたが、現在も不便を感じながらどうにか診療を続けております。余震のために不眠が続いたり、強い不安感が続いたり、血圧が上昇したりして、疲れきった患者さんが毎日100名以上来院しております。

実は私は、予定されていた皆様の地区大会にレイ・クリンギンスミスRI会長から、代理として出席するよう指示されていました。しかし今回の東日本巨大地震・津波のため地区大会開催は困難で中止をすると西川武重郎ガバナーからお電話を頂きました。私は八戸市に住み、まだ余震に不安感を抱いていますが、たまたまこの「RI現況報告」は2月末に書き上げていました。そこで皆様には不要と思われるかもしれませんが「RI現況報告と理事の一人としての意見」をまとめてお送り致します。ぜひこれからの奉仕活動の資料の一つとしてお読みください。皆様の地区は伝統的にロータリー運動が活発な地区であると聞いております。私自身も2009年4月の真下和男年度における地区大会の地区指導者育成セミナーに講演者として出席しました。その時の地区の皆様のアたたかい雰囲気が印象に残っております。また私がアメリカで学んできたロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)を数年前より研究して頂き今年度は「RLIを日本のロータリーに合わせるには如何にすべきか」というテーマに取り組んで頂いております。有難うございます。

レイ・クリンギンスミスRI会長は今年度のテーマを

「地域を育み、大陸をつなぐ」としております。私たちの地域の二一ズを的確に把握して奉仕活動を実践すると共に、世界で困っている人々にもあたたかい手をさしのべることが求められています。このことについては西川武重郎ガバナーは「利他のところで行動しよう」と地区テーマを決めました。さらにそれを予定していた地区大会テーマともしました。

西川ガバナーへの皆様のご協力をお願い致します。

【会員数の変動】

日本のロータリアン会員数はここ13年以上に渡って減少しています。1998年6月末に127,119名でした。それが2010年12月末には90,107名です。37,012名の減少になります。この退会の要因は健康上の理由、退職、転居、家族の介護、出席義務を満たせないなどです。その社会的背景には長引く不況、少子高齢化や地方の過疎化などが考えられます。

しかし、クラブ数では2,260から2,300に増加しています。つまり平均でみると1クラブ当たりの会員数が減少しています。クラブが活力低下に直面しています。それでも日本国内で最近ではロータリー財団学友を中心とした若い会員によるクラブがいくつか誕生しています。また、前年度に元米山記念奨学生を中心にした若い会員によるクラブも誕生しました。

世界の会員数は1998年6月末の1,201,595名から、2010年11月30日RI公式発表の1,214,063名と増加しています。クラブ数も29,113から34,026と増加しています。ロータリー・クラブのある国家数も159から、現在は200以上の国と地域に広がっています。

前々年度からインドがアメリカに次ぐ会員数で、日本は3番目になりました。インドだけでなく中央・東南

アジアや韓国でも会員数が増えています。しかし日本と同様にアメリカでも減少傾向であり、このことがRIとしては大きな問題となっております。

そこでRI理事会では、前年度7月より世界のロータリー・ゾーン再編成を実施しました。

つまり、日本から4Aゾーンが無くなり、日本全体が1、2、3の3つのゾーンになりました。韓国の南部地方にある5地区がゾーン10のセクションAとなり、ゾーン10のセクションBが台湾、香港、マカオ、モンゴリアと北京、上海より構成されます。しかし、このうち北京と上海は地区には属しません。RIのゾーン数はこれまでのように34ゾーンです。この結果、日本からのRI理事は2名の年度か、1名の年度となります。

日本は34地区です。世界では531地区です。2010年規定審議会で採択された制定案10-167「地区の境界を変更する理事会の権限を改正する件」に従って、RI地区委員会から地区再編について日本の2つの地区には分割を、他の2つの地区には合併の方針について該当する地区ガバナーとガバナー・エレクトに問い合わせがありました。

日本を含めて世界の女性会員は着実に伸びており2010年6月には19万人を超えています。世界の総会員の約16%です。日本は約4.5%です。世界ではここ数年70名前後が女性ガバナーでした。日本でも2007-08年度に第2630地区から初めて田中稔子ガバナーが誕生しました。

【管理・運営】

RI理事会はレイ・クリンギンスミス会長（アメリカ、カークスビルRC）、カルヤン・バネルジー会長エレクト（インド、パピRC）のほか、任期2年の17名の理事（2年目9名、1年目8名）ら合計19名で構成されております。これに、エド・フタ事務総長（ハワイ州ホノルル東RC）が出席し、幹事役を務めています。事務総長は報酬を受ける唯一の役員で、RIの組織運営の最高の執行責任者です。これまで10年以上にわたって深い情熱を注いでくれたエド・フタ事務総長は今年度末で引退します。その後任について国際ロータリーは次期RI事務総長ジョンヒューコ氏に決まり、1月の国際協議会で紹介されました。

日本からは2年目の黒田正宏（八戸南RC）と1年

目の近藤雅臣（千里RC）の2名がRI理事です。今年度8月のRI会長ノミニー指名委員会で埼玉県、八潮RC会員の田中作次氏が2012-13年度のRI会長に選出されました。田中氏については皆様は十分ご存知のかたです。日本としては1982-83年度の向笠廣次RI会長から30年ぶりのRI会長となります。皆様のあたたいご支援をよろしくお願い致します。

アメリカ・イリノイ州エバンストンのワン・ロータリー・センターにある事務局は世界本部（World Headquarters）と呼称されております。RI監査委員会は財政について厳正に任務を果たしております。

2010年8月現在のRI本部職員数と各国国際事務局職員数を加えて合計約600名です。他の事務局はRIヨーロッパ・アフリカ事務局（スイス・チューリッヒ）、RI南アジア事務局（インド・ニューデリー）、RI日本事務局（東京）、RI韓国事務局（ソウル）、RI南太平洋およびフィリピン事務局（オーストラリア・パラマツタ）、RI南アフリカ事務局（アルゼンチン・ブエノスアイレス）、RIブラジル事務局（サンパウロ）があります。

【財務】

会費である人頭分担金は、2010年規定審議会で、人頭分担金の増額が決められました。

2010-11年度には半期毎に米貨25ドル。2011-12年度は25ドル50セント。2012-13年以降は26ドルです。2009-10年度のRI財務報告では、収入9,560万ドルに対し、支出は8,250万ドルでした。収入は前年度より3,090万ドル上回りましたが、支出は前年度より100万ドル増加しました。過去に収入が減少したのは、世界的な金融市場の低迷により投資損失が生じたことが主な理由です。支出が増加したのは、広報補助金の活動、国際協議会の経費、プログラムと会議の活動が増えたためです。財務を含めた年次報告書（日本語）はロータリー財団を含めて毎年、RIより各クラブに配布されます。

【財団・米山記念奨学会】

2010-11年度ロータリー財団管理委員長は、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー元RI会長で、その他15名で管理委員会が成り立っています。日本からは2010-14年度の任期で小沢一彦（横須賀RC）が管理委

員です。

ロータリー・カードの会員数は、皆様の協力により2007年9月15日付けで5,000名を達成することができました。2010年6月末の会員数は6,100名です。会員のカード使用による買い物では、0.3%のロイヤリティーがロータリー財団に振り込まれます。2009年7月～2010年6月末までの寄付総額は2,618,857円になります。

ロータリー財団の使命は改訂され、「ロータリアンが、世界の人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、国際親善、世界平和を達成できるようにすること」と決定されました。ロータリー財団の標語も「世界でよいことをしよう」と決められました。

1994～95年からシェア・システムが実施され、2006-07年度からは地区活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)の配分が50%対50%になりました。

先進国ではDDFの一部を低所得国の地区奨学金基金として贈与することができます。世界平和フェローシップ・プログラム支援は軌道に乗ってきたところです。特にロータリー・センター・ホスト・エリアの中心的地区として皆様はICUにあるロータリー・センターを支援し、世界平和フェローのお世話を続けています。ありがとうございます。

しかし、世界全体としては教育的プログラムから、人道的プログラム参加に比重が移行し、マッチンググラントの参加が大きくなりました。

2009-10年度決算報告では、年次寄付は100.4百万ドル、恒久基金寄付は10.5百万ドル、ポリオ・プラス・プログラムは151.6百万ドル、その他の用途指定寄付は2.4百万ドル、その他3.6百万ドルで合計268.5百万ドルでした。この金額にはビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの寄付が含まれています。

その前の年と比較して16.6%の増加です。その中で日本の寄付は年次寄付は15,356千ドル、恒久基金は159万ドル、ポリオ・プラスをふくむ用途指定寄付は281万ドルで合計1,535万ドルです。世界の約8%を占めました。年次寄付の一人あたりは世界で82.34ドルですが、日本では119ドルでした。

今年度の財団の目標は、1. ポリオの撲滅 2. 「毎年あなたも100ドルを」と恒久基金の支援 3. 平和

と紛争予防／紛争解決 4. 疾病予防と治療 5. 水と衛生設備 6. 母子の健康 7. 基本的教育と識字率向上 8. 経済と地域社会の発展 9. ロータリー財団の未来の夢計画です。特に未来の夢計画試験的プログラムが世界で100地区、そのうち日本では6地区が今年度から始められました。皆様の地区でも2013-14年度よりこの新しい財団プログラムに移行します。今から少しでもご準備をお願いします。

20数年間にわたる私達ロータリアンの努力が実り、ポリオ撲滅にあと一歩というところにたどり着きました。野生型ポリオウイルスの常在国は4カ国になりました。そのうちインドとナイジェリアでは去年より発生数がかかり減少しました。現在ポリオ根絶に対して厳しい、最後のハードルを迎えています。しかし、撲滅を果たすには、今、WHOを中心として世界のロータリアンが力を振り絞らなければなりません。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から授与されたこれまでの合計3億5,500ドルのチャレンジ補助金に上乗せする2億ドルを集めるため、世界のロータリアンが努力しております。現在のところDDFと現金を含み1億6,000万ドルが達成されました。

なお、2010年6月30日現在でポール・ハリス・フェローは世界で1,243,082人、大口寄付者は12,847人です。アーチ・クラフ・ソサエティ会員は270人です。

ロータリー米山記念奨学会では、日本独自に外国人留学生に対し大きな貢献をしております。年間奨学生数はおよそ826人で累計15,886人(116カ国)です。寄付金は1996年をピークに下降していましたが、奨学金制度を改編し、新しい奨学事業を模索して、さまざまな試みが行い入れられております。2009-10年度の寄付金収入は13億2,585万円ですが、前年度比11.2%減でした。

【国際大会】

前年度のカナダ・モントリオール国際大会では小沢一彦元RI理事が国際大会委員会委員で、参加者は17,909人でした。そのうち日本人参加者は約1,100人でした。今年度の国際大会は2011年5月21日～25日にアメリカのニューオーリンズで開催されます。2011年2月28日の時点で日本からは652名の登録です。

【まとめ】

現在のRIもロータリー財団も、資産的に巨大組織になりましたが、日本などでは会員減少が続いて、大きな変換期となっております。これには会員数だけでなく、会員の質確保のためのロータリー情報伝達のあり方と広報などが問われています。私達は、2005年にロータリーの100年を振り返り、その成果を祝うと同時に、改革への第一歩を始めました。ロータリーの活性化を回復するために、ロータリーをより簡素化し、より柔軟で、より透明性のあるものにして、この激変の時代に即した体質へ脱皮することが望まれます。また若い会員を迎えるためにいわゆるY世代への理解が必要です。

そのためにRIでは長期計画委員会を発足させました。現在は「2010-13年度における長期計画の新優先事項と使命・ビジョン・中核となる価値観」が報告されています。その内容の要旨は皆様が持っている「ロータリーの友」今年度発行の「ロータリー手帳」の付録資料に記載されています。その三大優先項目として「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」と「公共イメージと認知度の向上」が挙げられています。またRIは具体的なこととして、地区リーダーシップ・プランを着実に整備し、クラブではクラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) を検討するよう推奨しております。しかし、CLPの採用はあくまでもクラブの自主性にありますが、少なくとも各クラブで「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」を参考にして頂き、独自のクラブ長期計画を作成して下さるようお願いします。レイ・クリンギンズミス会長は「ロータリーの本質」について「地域の人々の生活を改善したいという情熱を、社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク」と説明しております。

さらに私たちは職業倫理が中心的な価値観であることも再確認しております。2010年規定審議会で「新世代奉仕」を第五奉仕部門としました。このように私達はロータリーの基本理念を改めて確認することも必要だと思います。

財団では「ロータリー財団未来の夢委員会」が発足し、財団の使命や標語が明確化され、簡素化されました。今年度は新しい補助金構成の試験的プログラ

ム開始の年度です。RIのホームページには新地区補助金プログラムとグローバル補助金プログラムの新たに採用された事例が具体的に発表されています。ぜひ参考にして下さい。

RIの目的はロータリーの綱領を推進・実践するクラブを支援することです。私達はクラブが草の根レベルでの活力回復を目指して、「地域を育み、大陸をつなぐ」を実践しようではありませんか。そのためには、会員一人ひとりがロータリアンであることを自覚し、ロータリーの現在の問題を乗り越える努力が必要です。そして私達が積極的にRIや財団に発言すると共に、プログラムに参加していきましょう。

私なりにさらにまとめてみます。

1. RIのグローバルスタンダードを尊重するが、欧米の方法をそのまま日本に直輸入するのではなく、日本の社会文化的な背景、日本人の気質に応じた形に修正し、発展させる。
2. ロータリーの基本理念として守るべきことと、時代の変化に応じて変化させることを明確化する。もちろん基本理念を守るためにこそ自分自身が変化することも必要です。
3. ロータリーについて会員同士、クラブと地区、クラブとRIとの間で対話がもっと必要である。各会員やクラブからの意見をメールやFAXで地区やクラブに届けよう。
4. 奉仕活動の具体的なことは各クラブの独自性や多様性を尊重する。
5. 私自身は人間は身体的、心理的、社会的、倫理的および自然的な存在である。これらを無視あるいは軽視しては生存できない。また「人は生かされて、生きている」という考えのもとに奉仕活動を実践しています。

今後ともロータリーの奉仕活動への皆様の参加をお願い致します。

もし何か疑問の点がありましたら後記のメールアドレスかFAX番号にご意見をよこしてください。

連絡先

2009-11年度RI理事 黒田 正宏事務所

E-mail : mskuroda@vc.hi-net.ne.jp

FAX : 0178-47-8583

「現場力」で正念場を乗り越えよう！

クラブ奉仕部門委員長 井花 富男（新狭山）

東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。そして義捐金をはじめ、必要とする物資をピンポイントで搬送、また避難された方々のケア等と様々な支援活動を展開されているロータリアンに心より敬服申し上げます。

私達の時代に、この様な胸を刺す痛ましい惨事に遭うとは想像だにしませんでした。経済への打撃も計りしれないものがあり、“ロータリーどころでない”、と腰が引ける方もおられるかも知れませんが、ここはロータリアンの踏ん張り所です。藤本隆宏東大教授が言っておられます。

『海外の友人たちからは、極限の状況での日本の「現場力」に対する、驚嘆と称賛の声が多く聞かれる。被災地の復旧現場、生活現場（コミュニティ）、生産現場等の秩序・互助・対策・実行の水準の高さ…』（日本経済新聞、経済教室「現場重視」を復興の起点に）

その「現場力」こそ、私たちロータリアンの“持ち味”^{あじ}ではないでしょうか。職業分類で選ばれた多様性のある職業の「現場力」を持っています。復興は時間を要します。これまで培った奉仕の「現場力」による支援活動と共に、自分の職業の「現場力」をしっかり固め、劣化しない様に務めることも復興の一助かと思えます。懐に余裕なく、されど加齢でボランティア^{ふところ}として支援活動する体力も欠く、私の様な者でも、力になることができます。

幾度の悲惨な自然災害・人災にもめげず、営々と今日の日本を築いて来られた先人達の財産の上で繁栄を享受していた私達が、今度は“強い日本”の復興の役割の一端を担うことになりました。藤本教授は更に言っておられます。



『しかし「復興」局面には強い。目標が定まれば、互いの配慮と幅広い分業が協働効果をもたらすからだ。これまでも、戦災・災害後の再建の速さで世界を驚かせてきた。今回もその「統合型の現場能力」が発揮されれば、今の日本への好意は、世界の信頼に転化する。被災地のみならず、日本全体が正念場だ』

不謹慎だったらお詫びします。私の学生時代に“何と詫びよか おふくろに 背中で泣いている 唐獅子牡丹”、という勇気づけられた高倉健さんの歌がありました。“襟で泣いている ロータリーバッジ”、とならぬよう、トラファルガー海戦でナポレオンの仏西連合艦隊を打ち破ったネルソン英国提督の有名な信号を（ ）内に置き換えて「England (Rotary) expects that every man (Rotarian) will do his (one's) duty (best)」、ぜひ、一緒に「現場力」で力まず正念場を乗り越えて行きましょう！

最後に地区大会に向けて大変なご尽力をされてきた西川ガバナー、神山実行委員長、関係者の皆様、心中お察し申し上げます。本当にご苦勞様でした。

国際ロータリー第2570地区

各ガバナー補佐 様

去る3月11日発生した東北関東大震災では、各クラブのロータリアンの皆様やご家族ご縁戚等に被害があったことと思われます。あらためてお見舞い申し上げます。

さて、当地区では過日書面にて地区大会の中止をお知らせさせていただきました。しかしながら、地区大会の中で決定しなければならなかった決議事項等もありますので、来る6月11日（土）にあらためて地区大会に変わる地区会合を右記の通り開催させて頂く予定です。

なお、過日各クラブ会長様にお願いした義援金は、現在多くのクラブより地区義援金口座に寄せられておりますことに感謝申し上げます。現在、地区としてはガバナー会に1,000万円送金済みです。皆様から寄せられた義援金は、被災者が第2570地区内に避難された人々の支援に使用することも考えております。ただ、今回の震災処理は長期化するものと思われますので、さらに救いの手をさしのべていただければ幸いです。また、救援物資については各クラブでご判断いただき、直接被災地へお送りください。

残された6月末日まで、2570地区ガバナーとして全力で職務を全うする覚悟ですので、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

国際ロータリー第2570地区
ガバナー 西川武重郎

■ On to ニューオリンズ委員会より

来る5月21日、ニューオリンズ市内レストラン「ラルフ・カークス」において、西川ガバナー・立原ガバナーエレクトを囲んで開催予定の「2570地区ナイト」は、残念ながら諸般の事情で中止とさせていただきます。

参加予定の皆様には心より深謝致します。

日時 平成23年6月11日（土）

場所 志木市民会館パルシェイ
各種委員会

14:30 登録開始

司会進行（ ）

15:00 点鐘

国歌・ロータリーソング

開会

物故会員・東関東大震災に対して黙祷

地区役員（PG）紹介

ガバナー挨拶（地区の現況報告）

2009-10年度 収支報告

2009-10年度 地区監査報告

2009-10年度 収支報告承認

各種委員会報告

大会決議案の審議および採択

表彰並びに感謝状贈呈

各グループ及び部門報告

・地区研修委員会

・クラブ奉仕部門

・職業奉仕部門

・社会奉仕部門

・国際奉仕部門

・新世代部門

・米山奨学部門

・R財団部門

次年度地区大会ホストクラブ代表挨拶
点鐘

17:00 懇親会

司会進行（ ）

・ガバナー挨拶

・一年間の講評

・乾杯

・手に手つないで

・御礼

「学び 楽しみ 交流する」

第3グループガバナー補佐 磯田 力彦（新所沢）

IM開催日当日2011年3月4日（土）は快晴、開催場所は所沢ミューズ。午前8時半過ぎ集合し順次に準備を整え、午後1:30点鐘で第3グループIMはスタートしました。式典での来賓の方々には当摩好子所沢市長、西川ガバナー、梅沢PG、石川PG、加藤直前G、地区役員20名の皆様。そしてグループ12クラブの多くの会員の皆様の参加を得て開催されました。

今回のIMの演目はその趣旨、「学び 楽しみ 交流する」の考え方に沿って、まず最初に「ディアボーン街の奇跡そして我国ロータリーの発祥」の演劇で学ぶ。次に、国際的ピアニストによる音楽コンサートで楽しむ。結びとして、12クラブ会員による懇親会で交流する、の順に進めました。

第1部の演劇については、従来のIMのマンネリからの脱却を目指し、そして且つ第3グループの総力を挙げて取り組みました。先ず脚本を十分に練り上げ、各クラブから会長さん或いは幹事さんの出演決定。リハーサルは昨年10月から始めてIM当日までに5回行いましたが、練習回数をこなす毎に出演者の皆さんの士気もアップ。当日午前の最終練習ではチームワークもバッチリで、良い意味での緊張感と共に上演「オン」となりました。

シナリオはロータリー草創期の有り様をかなり克明に描きましたが、出演者の方々はそれをよく理解して頂き、見事な演技振りだったと思うのですが如何だったでしょうか!!

演劇の最中の照明、音響、背景音曲、ナレーション



についてもいろいろと工夫を凝らして演出してみました。会場の皆さんの反響も、手前みそですが割と適度な笑いと和みもあって良かったと思われます。ロータリー草創時代の歴史についても本筋を外さないで描ききれたと考えています。

また「我が国ロータリーの発祥」の場面では、西川ガバナー、石川パストガバナーの好演で1920年当時の日本のロータリーの始まりについて会場の皆様にご理解頂けたものと思います。結びの講評を梅沢パストガバナーにお願い致しましたが、演劇の場面、場면을的確に講評して頂き誠に有難うございました。

第2部の音楽コンサートではクロアチアのミア・エレズビッチさんのピアノ演奏、ミアさんの夫君（ベルリンフィルの方）のチェロの協演は大変に素晴らしいもので、聴衆の皆様に満足して頂けた事と思います。

そして結びの懇親会には期待以上の多くの皆様にお残り頂き、盛大に行う事が出来ました。西川ガバナーの総評、石川パストガバナーの挨拶、加藤直前ガバナーの乾杯で会の幕を開け、和やかな懇親の時間もあっという間に過ぎてゆきました。中締めを立原ガバナーエレクト、浅田ロータリーの友地区代表委員、栗山地区研修委員長の御三方にお願いし、盛会の内にお開きとなりました。



第5G全クラブによる活動報告

第5グループガバナー補佐 澤田 将信 (熊谷南)

2月26日(土)ホテル・ガーデンパレスに於いて第5グループIMが澤田ガバナー補佐主催、ホストクラブ熊谷南ロータリークラブで全参加者260名を迎えて盛大に開催されました。



壇上には、「利他のところで一地域の未来を語る」のテーマと、第5グループ参加全10クラブのすべてのバナーが掲げられ、そのもとでガバナー補佐として高らかに点鐘して始まりました。

今回のIMのメインイベントは、第5グループ全10クラブによる活動報告でした。これまでグループ全クラブのクラブ発表と言うのはなかなかなかったことではないかと思います。持ち時間10分間という限られた時間の中で、写真や動画を有効に使い、又は得意のスピーチで、各クラブとも非常に中身の濃い、最大限にアピールできる発表をして下さいました。

このように他のクラブの活動内容を拝聴できる機会はそうあるものではなく、それも一度に10クラブの発表を聞ける機会と言うのは、正にIMと言う舞台があるからこそだと思います。発表に際しては、各クラブの皆様準備に大変なお骨折りを頂きました。それが実を結んだ結果、数的にも質的にも大変充実したミーティングの場が持てました。あらためて感謝申し上げます。



又、今回のもうひとつの成果にあげたいのは、ロータリー以外の、地元で様々な地域貢献活動をしている団体の皆様を多数お招きし、16団体、30名の方に参加して頂いたことです。

その方たちにも共に10クラブの活動報告を聞いて頂き、最後の懇親会まで私たちと共に過ごして頂き、お互いに貴重な時間とその意義を共有出来ました。このIMがきっかけとなり、普段、ロータリークラブに対して偏見を持ちがちな地域社会の方々にも、ロータリー活動に対してさらなる理解が深まればこの上ない成果であると確信します。



後日、ご招待した来賓の皆様からも、これがIMの本来のあるべき姿とのご講評を頂き、我々の目指した目的はおかげさまで達成できたのではないかと思います。

ご多用中にも関わらず御臨席を賜りました西川ガバナー始め地区役員の皆様・地域貢献活動団体の皆様・第5グループ全クラブ会員の皆様、ご協力本当に有難うございました。

オーストラリア、D・9630偉大なり

GSE 団長 井桁 憲治 (熊谷東)

クイーンズランド州のブリスベーンを中心に2週間、西部の郡部を2週間、計4週間の研修旅行が今回の目的地でありました。地区の広さは広大で、西部のS.ジョージまで700*_ロを8時間、車でゆられて移動しました。季節は、夏の盛りで、毎日30度を超える暑い毎日でした。復旧中の建物、道路、破壊されたままの住宅など、大洪水の後も未だに残っておりました。

3月5日夜に出発し、6日にゴールドコーストへ。一気に真夏のビーチを目の当たりに致しました。アン・ガバナー ご夫妻・GSEレスター委員長・グレッグ 団長始め、多くのホストファミリーに出迎えられて各ホームに分散致しました。私はアン・ガバナーの家庭にステイさせて頂きました。ご主人もパストガバナーでした。



レスター委員長と井桁団長



アンガバナーと日本チーム



オーストラリアのホスピタリティー（おもてなし）は世界一と言われております。今回は3度目の訪豪でしたが、日本を愛している隣人が彼らであると学んできました。団員4人も大きな人生の宝を発見してきました。豪のGSEチームが来日を切望しております。叶えることが隣人の務めと信じております。



日豪 GSE・オールメンバー

■地区大会記念事業除幕式

県土整備事務所も積極的に応援



地区大会は、まことに残念ながら中止になりましたが、口火となるはずであった記念事業として、舟運で栄えた志木市の繁栄に大きく貢献した河川を讃えようと考えました。その結果、舟運の基地になったいろは橋交番のたもとに記念碑を建立することにしました。たまたま埼玉県は「みどりと川・再生宣言」事業を展開しており、県土整備事務所も積極的に応援してくれました。

記念碑は本体が黒御影石、台座が白御影石を材料として、志木RCの内田栄信会員がデザインして自ら彫刻されました。その記念碑には『歴史と花に彩られ、子供が川遊びできる自然と水辺の創出「川の国埼玉」の実現に向けて、この新河岸川で川の再生に取り組んでいます。古くは、河岸場で栄えた遠い記憶が帆風と

ともに復活します。』と刻まれ歴史への誇りと、川の再生に向けた勇気を表現しているかのようです。記念碑は直方体に形成され、落ち着いたの中に自信を感じさせられます。

除幕式は、3月29日午後、西川ガバナーのあいさつで始まりその後、山口文平朝霞県土整備事務所長、長沼明志木市長(志木RC)が来賓として挨拶されました。多くの志木RC会員の参加を得て、西川ガバナーの手により序幕が行われました。記念碑の舗道側には「川の再生 国際ロータリー第2570地区 2010～2011年度 利他のところで行動しよう 地区大会記念」と刻まれています。

記念碑は、2010年度から始まった埼玉県の「水辺再生100プラン」の一つに数えられています。この記念碑が、これからもこの事業の美しい記念になること、そして水辺の再生が円滑に進むシンボルとなることを参加者全員で祈念しました。



地区副幹事 月信担当
内山 純夫(志木RC)

「埼玉新聞」2011年(平成23年)
4月1日号 14面より



今こそロータリーの原点に

東松山 RC 会長 **竹ノ谷 誠**

3月11日午後2時46分頃に発生した東日本大震災は大津波を引き起こし、未曾有の大被害を与え、原発の事故を誘発し未だこの先どのような事態になるか予想もつかない現状です。被災地の皆様方の窮状、心痛を思うと本当に胸が一杯です。今私達ロータリアンは何をなすべきか？ 何ができるのか？ 私達東松山ロータリークラブは震災後、直ちに理事会を開き、取りあえず義捐金をできるだけ多く送ろうと例会に諮り地区事務所に百万円贈らせて頂きました。現在37名の会員ですので、桁違いの事はできませんが、現在埼玉県各地に、原発で避難されて来られた方々が当地にも来ておられます。

この災害は復旧、復興までかなりの長期間に渡ることが予想されますので、長期に我々も支援の体制を作らなければならないと思いますし、まず、身近な避難されてきた方々の出来るだけの支援をしていかなければならないと考えています。

今こそロータリーの原点である奉仕、西川ガバナーの言う利他のこのろで行動しようではありませんか。



長い絆 グリーン・サイクル

川越中央 RC 会長 **飯島 繁文**

1000年に一度と言われる、巨大地震と強大な津波で不幸にも亡くなられた方には、心より御冥福をお祈りし、被災された方には心より御見舞い申し上げます。今回の地震に限らず自然の凄さと言われます。長い宇宙時間そして地球の歴史の中での自然が、ご機嫌な時間帯の間だけ、我々人間が生活できるのだと、思う位の謙虚さが必要なのかもしれないと考える昨今です。

被災された方々は、過酷な条件のもと頑張っているけど大変困っているわけですから、義援金は元よりプラスいろんな形・方法の直接的な援助が被災者の勇気や元気になると思います。今ロータリーの真価が問われています。川越中央RCは、4月にリサイクル自転車80台程を被災地へグリーン・サイクルとして手作りで気持ちを込めた意気の長い支援に取り組んでいます。さらに広がる努力をしたいです。



復興への希望の桜

東松山むさし RC 会長 **内山 明夫**

この度の東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私達はこの地震と津波による未曾有の大災害に何か出来る事を、今すぐにしなければとの思いに駆られました。

まず、震災直後の例会では会員のお宝を持ち寄り「チャリティーオークション」を実施して義援金を募りました。

又、3月17日には東松山市長さんをお招きして、市民の願いを込めた「希望の桜」の植樹式を上沼公園で行いました。

その桜には、クラブ全員の思いを込め、「東日本大震災復興への希望の桜」となりますようにとのプレートを付けさせて頂きました。

そして桜の苗木には小さな蕾が沢山付いていました。もうすぐ春、被災地の皆さんには遠い春ですが、私たちロータリアンが思いをカタチにします。全力で応援します！ 頑張ってください。

大震災がもたらした物

川越小江戸 RC 会長 **山本 庄一**

東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。地震大国の宿命であるとはいえ、まさかここまで甚大な被害になろうとは、誰が予想したでしょうか。大震災と津波、そして原子力事故の追いうちで、我国は人的、経済的大きな痛手を負っています。急いで被害を食い止め、復旧・復興を行い、中長期的には経済を再生し、なおかつ財政の破綻を招かないようにしなければならない。国民として何ともしようがある難題です。しかし66年前の終戦の廃墟から立ち直った日本の底力を信じます。震災後これほどの大災害なのに阿鼻叫喚のパニックを起こさない日本人の資質に諸外国が驚いていると聞きます。災い転じて福となすの言葉のように、これを機に日本人が悪意、妬み等の下劣文化を一掃し、一致団結、助け合いの心で前進して行くことをロータリアンの一人として願うと共に、今自分達が出来ることを確実に実行しなければならないと思います。



日本人の矜持

坂戸さつき RC 会長 **小川 直志**

3月11日発生した東日本大震災の被害に遭われた全ての皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

当日帰宅困難であった首都圏、埼玉県民はパニックもならずひたすら家路を急ぎました。報道で知る未曾有の大惨事に、日本国民は、被災された皆様と同じ気持ちで、ガソリン不足には行列、食品品薄にも寡黙に、そして計画停電にも柔軟に対応しました。暴動強奪も発生せず、日本人は深い深い悲しみの中から「復興」の二文字を掲げて今立ち上がっています。

津波から救うために尊い命を落とした人々。震災直後から救出、安全確保のために昼夜を問わず全力を尽くす自衛隊、消防士、警察官、そして原発事故に立ち向かう東電の人。まさに「日本人の矜持」であります。今こそ、「日出る国」に誇りをもって心一つに。



今こそロータリーの底力を

朝霞 RC 会長 **橋本 芳博**

朝霞RCの幾多の協議を通じて出した結論は次の通りです。

- 1 クラブ資金を含めロータリアンが最大限の義捐金を拠出すること。(バリアフリー映画会の中止を含む)
- 2 義捐金は地区に集中すること。
- 3 地区、被災地のガバナーを全面的に信頼し義捐金の用途には一切言辭を挟まないこと。
- 4 ロータリアンは職場や家庭や地域で、できうる限りの行動を起こすこと。

関東大震災を上回る東日本大震災において今こそロータリーの底力を発揮し震災復興にあたろうではありませんか。





被災地の復興を願う世界中の絆

志木 RC 会長 **吉野 幸泰**

未曾有の地震、津波に加え原発災害にあわれた東北地方の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。大震災は人類の英知を無残に打ちのめし、多くの人々の命を奪い財産を失わせました。この災害は、瞬く間に世界中に報道され、日本のみならず世界各地から支援の手が差し伸べられています。人類は天災に対しては無力でしたが、被災地に対する世界中からの支援の手は、世界は一つであり、日本は世界中と強い絆を結んでいることをあらためて証明してくれました。

今私たちに出来ることは、義援金をお送りすることしか出来ませんが、世界中のロータリアンが一つになり被災された方々を応援していること、一日も早い復興を願っていることを、被災者の皆さんにお伝えしたいと思います。



やっぱり起きたか原発事故

新座こぶし RC 会長 **小松とし子**

20年位前に原発について、色々学習していた。デモにも参加し、地震大国に原発は考えられない、何とか日本の原発を止められないものかと行動してきました。なけなしのお金で東電の株を買い株主総会に参加しました。又、自分の家に「原発の電気は使いません」のシールを貼って、小さな抵抗をしてきました。そして学習会の中で、どのように原発の土地が売買され、どのように作られていき、どのような人が現場で働かされているのかを知りました。その時は恐怖で眠れない事さえありました。月日は経ち、その事に触れないように生きてきましたが、今回の事故でした。マスコミは正しい情報を早く正しい方法で公開してくれる訳ではないため、市民は惑わされる事も多く、自分の無力さに打ちひしがれている状態です。それでも出来ることはないかと思っています。



東日本大震災

狭山 RC 会長 **田島 貴**

自然の力の計り知れない偉大さの前に、防災体制の想定外の地震・津波の大きさに、間一髪で生死が分かれた人々、自然界の前でいかに人間の無力さを痛感したか、余りにも平和過ぎる生活を堪能し過ぎていた現在を戒めるような深く、悲しい大惨事は、改めて自然の凄さや偉大さを、思い起こさせ、深い反省と教訓を教えてくださいました。

しかし、世界中が驚嘆するほどの、我が日本の秩序の良さや団結力は涙が出るほどの勇気と力を与えてくれました。自治会・消防団・各種団体の方々、家族が犠牲になっているのも顧みず行方不明者を必死に探している姿に、現場に行っても応援の出来ないもどかしさを感じます。また、自衛隊・消防レスキュー隊等の危険を顧みずの活躍には、頭が下がります。

「がんばれ日本!!」、「皆で手を携えてがんばろう!!」。小さな力も集まれば強大になる。皆で応援しよう!!

東日本大震災

志木柳瀬川 RC 会長 **片桐 靖子**

3月11日に起きた東日本大震災は言葉には到底言い表せないほどの衝撃でした。被災された方々のお見舞いとお悔みを申し上げます。

私達もどうしたら良いか被災地にすぐに行ってお手伝いをしたいと思っても、何か送れば良いと思っても、何も手がつけられないのです。「私が生きていて良いのかね」と言って大粒の涙をこぼしていたお年寄も、お父さんお母さんがいなくて「迎えにくるまで良い子にしていって」とおじいちゃんに頭をなでてもらっている子も、どの画像を見ても涙が出てきます。お母さんが子どもを抱きかかえているそのままで亡くなっている、家もない学校も、役所もない、こんな事って映画の中のシーンで見ていた事がない事が現実です。東京電力の福島原発のことも気になります。私たちロータリアンは世界中から注目されている我が国、日本を手を拱いて見ているわけにはいきません。



今こそ真価が問われるとき

入間 RC 会長 **山岸 義弘**

この地球上で観測史上3番目、M9.0の大震災に襲われてしまいました。東北地方を中心に甚大な被害が発生致しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

4月開催寸前の地区大会の中止決定、大会予算1,000万円を義捐金として拠出との報に接し、一年以上の準備期間を経て正に一年間の総決算として開催日を待つみの状況であったはずの地区大会ですが、素晴らしい決断をされたと感動しております。

日本国中は勿論のこと全世界で支援の輪が広がっています。長期間の覚悟が必要ですが、必ずや復興は成し遂げられると確信しています。日本人の国民性、団結力、精神性に対しては、すでに世界中で絶賛の声があがっています。奉仕を掲げるロータリークラブの真価も問われる機会です。「がんばれ東北」私たちも応援しています。



東日本大震災への思い

日高 RC 会長 **鈴木 敏蔵**

この度発生した、東日本大震災の被災地の皆様に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

当クラブでも、被災者への支援についてクラブ協議会を開き、真剣に話し合いました。2570地区を通じ義援金として、10万円の送金、日高市役所を通じて50万円を送金することに決定され、既に実行済みであります。また、姉妹クラブ関係にある韓国の提川クラブからも義援金の申し出が届いています。

今回の大惨事の復旧には予想も出来ないほどの、予算と時間が必要であると思われます。この先、被害がなかった地域にも過去、経験したことのないほどの大きな影響が出てくると考えられます。ロータリアンとして、職場のトップとして、愛国心のある国民として出来る限りの支援を、長期に渡って続けていく必要があると感じています。忘れてならないのは、各々がすべてのバランスを冷静に判断し、共存共栄の精神で取り組んでいく事だと思います。





東日本大震災

新狭山 RC 会長 **村田 昇**

東日本大震災で犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますと共に、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

M9.0という大地震、想定外の津波、福島第一原発の東京電力放射線の恐怖、計画停電。何もかも失った多くの被災者の皆さんが避難所生活を余儀なくされている。

市内3RCは何が出来るか、何をしたらよいか討論し、地区への義援金の送金はもとより、狭山市の被災者への取り組みに対する支援を行うことに決定しました。

狭山市では3月22日～6ヵ月間、100世帯の受け入れ無料で。



会長職終盤に向けて

所沢中央 RC 会長 **越阪部 洋**

私の会長職も皆様に支えていただきながら終盤を向かえた。弥生月に入り、第3GのIMも無事終わり残すところ地区大会と親睦旅行に思いを巡らしている矢先、3月11日午後2時46分突然大きな地震に見舞われた。なんと東日本大震災になって全てがいっぺんに変わってしまった事に心が打ちひがれた。この地震を境に日本人一人ひとりが他人の痛みを敏感に感じながら無駄な生活を改めていく良いきっかけになったのかもしれない。被災者の方々の事態が一刻も早く復興できるよう我々もできることから応援していきたいと思う。「禍福は糾へる縄の如し」。災いが幸せとなり本当の意味での春が、早くおとずれる事を心待ちにしながら、思い出多き会長職を後三ヵ月間頑張っていきたいと思う。



災害は忘れた頃にやってくる？

深谷 RC 会長 **木村 葉子**

人知を超えた自然の驚異！そして二次的に起きたそれを上回るような人災！我々日本人はあまりの事に今言葉を無くしている。一体これはどうなっているの？これからどうなるの？直近の世界経済に及ぼす大事件だけでもリーマンショック、GDP日本3位に下落、中東革命による資源高、円高これ等の大きな影響を我々中小企業はなんとか凌いできましたが、ボディーブローのようにじわじわと、しかし確実に我々の体力を弱めました。そして最後のとどめを刺すかのようなこの大きな一撃！しかし冷静に考えてみればまだまだ東北、東南海、南海、東京直下等予想される大地震だけでもこの通り。しかも今回の災害地より人口経済の密度は非常に高く予想される被害は…。それでも我々は生きていかなければならない。よりよい社会、災害に強い社会を目指して。人の気持ち、心の密度を上げましょう！我々がロータリアン！

日本の生涯ともに消えぬ心の痛み

所沢東 RC 会長 **齊藤 栄二**

東日本大震災、増して福島原発施設の事故ニュース、テレビからの映像を見るたび胸が潰れる思いになり、情報が入るたびに自分自身“うつ状態”に陥ってしまう気持ちに私個人ロータリアンとして、戸惑うばかりです。福島原発の放射能漏れ事故は依然として解決の道筋が見えてこない。事故の状況は毎日メディアが大きく報じているが、新聞でのニュースでも東電が放射性物質計算ミスで人体や環境への影響が大きいとされるヨウ素やセシウムのデータについて建屋地下のたまり水から原子炉内の冷却水が約10000万倍の濃度を示す放射性物質を検出したと発表し、翌日には換算ミスだとして10万倍として訂正されている。このような緊急性が重大的である中で当クラブ独自に義援金を180万円募ることが出来ました。被災の大きい2520、2530地区へ直接出向き被災地への援助をさせていただきます。次年度RI会長のことは「人生は、単純です。それを難しくするのが人間なのです」感銘しました。



原発事故報道に正確さと冷静さを求む

狭山中央 RC 会長 **沼崎 正徳**

福島第一原発の事故は非常に重篤で、心配です。しかしマスコミの報道は正確でなく危険を煽るようで困ります。TVの番組に引き出された学者は「人体への危険性はありません」と言っているそばから、アナウンサーは放射線による雨の影響とか、放射線汚染の食べ物は—など自分の低い知識を振り回す。汚染した食べ物の摂取は良くないと学者は答えざるを得ない。余計な言動が民衆の恐怖心を助長することになる。説明する学者や専門家は放射能を持った微粒子(ほこり)が付着しているからそれを流水で除去すれば問題はなくなるという基礎知識の説明が無い。原発近隣住民の避難も大げさすぎる。必死で防災作業をしている警察、消防、自衛隊、東電社員や関係者たちを思い心が縮む。原子炉は臨界状態で制御できないのではなく炉自体は安全停止していることをきちんと報道して欲しい。



そして、未来へ

秩父 RC 会長 **井上 豊**

東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。まだ寒い日の続く東北の地で幼い子どもたちや高齢者、病気を抱えた方たちの日々の暮らしを考えると心が痛みます。一日でも早く日常を取り戻してもらいたいものです。

また、東京電力福島第一原発の事故は、地震、津波で傷ついた私たちの心と身体をさらに痛めています。一刻も早く事態を収束してもらいたいものです。この大事故で私たちの日々の生活は「クリーンで安全!」と謳われていた反面、危険で脆弱なものに頼っていた事に気がされました。

今後、エネルギーの供給源をどのようにするのかの問題が起きると思いますが、私たち人間を始め、地球上で共存する多くの生物のためにも禍根を残さない選択をしなければならないと思います。





何が出来て何が継続できるか

川本 RC 会長 **野邊 利正**

この度の大震災で被災された皆様そして関係者の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

第2570地区は比較的、災害等の少ない地域と思われていますが、この度の首都圏の3時間停電を受け改めて我々も不便さを痛感致しました。家族を失い、住む所を失った方々の日々の大変さは計り知れません。我々の身近にも避難されてこられた方々が大勢います。

直接的に又、間接的に今何が出来るのか、何が継続して出来るのかという事で支援していきたいと思っております。

被災者の方々が一日も早く元気を取り戻すことを願っております。



白河西ロータリークラブを通して

深谷ノース RC 会長 **川島 豊**

このたびの「東日本大震災」の被災地の皆様に、心からお見舞い申し上げます。2月の終わり、これから友好関係を結ぼうとしている「白河西ロータリークラブ」より25周年記念式

典のご招待状が、我がクラブに届きました。当然のごとく喜んでその晴れがましい式典に参加する予定でした。しかしながら3月11日、すべてが一変してしまいました。震災当初、ご多分にもれず先方への連絡が一切とれない。やっと一週間後に連絡が取れた時点では、メンバーの皆様が全員ご無事ということで胸を撫で下ろした次第です。ところが、皆様ご自身のご自宅会社等も少なからず被害に会われている様子なのに、早速メンバーのお医者様を中心に、ボランティア活動を開始するとのご案内でした。今後、我がクラブも、微力ながらこの活動を後方支援する所存です。



行田RCの支援活動

行田 RC 会長 **蔭山 好信**

行田RCでは、5月中旬に予定していた親睦旅行を中止して、親睦旅行用の費用から100万円を義援金として提供することとし、去る3月31日、日本赤十字行田支部長の行田市長に100万円を渡しました。

また石巻市社会福祉協議会から救援要請が来たことから、ボランティアとして送る市の職員30名とバキュームカー1台を送ることとなり、行田RCとしては、ボランティアを送るバスをチャーターし、スコップや土嚢等を用意して、4月8日の午後8時にボランティアバスを出発させております。

今後も継続して石巻市にボランティアを送る予定ですが、その他行田市に避難されている被災者の支援も行ない、更にその他の被災者支援についても検討中であります。

この時だからこそ笑顔

皆野・長瀬 RC 会長 **山川 明美**

東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り致しますと共に、被災に遭われた多くの方にお見舞い申し上げます。この震災で、親兄弟や身内の人をすべて失った子どもたちも多く、被害の大きさに言葉を失うばかりです。ただただ手を合わせて祈り、自分たちに何か出来る事がないか思い巡らせています。寒いでしょう、ひもじいでしょう、次から次へ襲いかかる余震で恐ろしいでしょう。私は居ても立っても居られない気持ちでした。テレビの報道で、親、兄弟、姉妹の命を奪われ、全財産、そして想い出までもすべて奪われた人たちが映し出されていきました。そんな中、独り奇跡的に助かった方が、命が救われた事に感謝し、残されたみんなで気持ちを一つにして、力を合わせ復興に力を注ぎたいと微笑んでいました。その姿に、私は逆に力をもらいました。笑顔は「心の健康」、「心の美しさ」を表し、笑顔が「安らぎ」を与え。笑顔が「思いやり」をつくり、「愛」をつくれます。そして心に「ゆとり」をもつくれます。私自身、その笑顔に勇気づけられ、癒され励まされました。寄付をしたから、物資の支援をしたからといって、それで終わりではありません。これから長期にわたって、物心両面の支援が必要です。小さな力が、より大きな輪となって、これを契機により良い日本が築ける事を祈りながら・・・



大震災 自然の悠久さと人生の無常さ

熊谷 RC 会長 **前嶋 修身**

その日は熊谷RC第2842回例会の当日でした。会長挨拶で私は、今年初めに亡くなられた故八木橋宏純会員を偲び、中国唐代の詩人劉希夷の有名な詩の一節「年々歳々花相似たり 歳々年年人同じからず」の話を致しました。毎年、花は美しい花を咲かせるが、一緒に花を眺めた人はもうこの世にいない、という自然の悠久さと人生の無常さを対比させて詠嘆した詩です。この挨拶をした2時間後、まさにこの一節を再び私の心に思い起こさせる大震災が日本を襲ったのです。

また、当日は当RC会員である東京ガス社員による卓話があり、私は謝辞で東京電力のオール電化エコキュートに負けないように、と述べました。盤石だと日本中が信じていたその東京電力が、こんなに脆かったとは！

今年も熊谷堤の桜が咲く中、私たちロータリアンは一歩でも被災地の復興に力を。



人間として復旧に尽くしたい

羽生 RC 会長 **島村 武房**

JR東日本が、3月5日新型高速新幹線車両「はやぶさ」の運転を開始。そのあまりにも流麗すぎるフォルムに、はたしてこんな夢のような車両が必要なのだろうかと思った。

その直後、悪夢の「東日本大震災」。ロータリアンとして以上に、人間として今、私に何ができるかを考え、実行したい。





みんなの力で復興を

加須 RC 会長 **高橋 伊佐夫**

3月11日に起きた東日本大震災、それに伴う福島原発事故で、日本は未曾有の危機にさらされている。

豊かさと便利さの中にどっぷり浸かっていた我々への警鐘なのかなと思わざるを得ない。1日たった3時間足らずの停電でさえ右往左往してしまうのだから、電気のありがたさを身に染みて感じる。

被災された方々の事を思い、今一人ひとりができること、たとえ小さな事でも積み重ねていくことが大きな力となるのではないだろうか。

この地震を境に、今までよりもなお一層強い絆が生まれ、一人ひとりが力を合わせ、日本国民が復興に向かって一つになり、この危機を乗り越えていかなければならない。



式中止でも創立の志は新たに

行田さくら RC 会長 **橋本 恭一**

史上例を余り見ないほどの災厄の中、ロータリーがロータリーであることが試されています。行田さくらロータリークラブでは3月15日創立35周年式典を開催予定でした。このような状況だからこそ35年の歴史を振り返り「私たちはロータリアンです」と創立の志を惹起する機会としたいと思い、実行を模索しましたが、会場の損傷などで実行不能と判断しました。記念事業として「未来へ残したい行田自然八景」、「行田さくらマップ改訂版」、会員夫人の田中淳子さん作詞作曲の「さくら」の歌を発表する予定でした。

マップは来年3月に配布。自然八景は状況が落ち着いたら、アンケート募集からお世話になった新聞記者の方々と相談して再発表の道を探ります。

式典中止で使用せずに済んだ費用は募金と共に義捐金に当てます。



チャレンジ募金

吹上 RC 会長 **原 功**

この度の震災に被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

当クラブの会員から募金箱にロータリーロゴを使用して被災者に対する募金をしたい旨の連絡がありました。日赤等の募金制度の整った団体と比較して、ロータリーが市民の善意を取りまとめる意義は何か？ 独善に堕ちることなくRCらしさを出せることは何か？ 思案を廻らせました。

RIのポリオプラス・プログラムでビルゲイツ財団の合計355百万ドルに上る寄付に対してRIがチャレンジする仕組みを模して『東北関東大震災チャレンジ募金』—当RC会員事業所で市民から寄せられた募金と同額を、当RC全体でプラスし、義援金とすることを提案し、本日の例会で賛同を得ました。

微力ですが、被災者の皆様の復興の一助となれば幸いです。

継続

熊谷西 RC 会長 **鯨井 邦男**

歴史的、未曾有の大惨事、被災者はもちろん、多くの支援者が頑張っている中、微力な自分を痛感しています。義援金協力、節電、余分な買いだめをしない事、わずかでも、出来ることを見つけ、協力し続けたいと思います。

直接被害を受けなかった地域の方々も間接的に何らかの影響を受けています。やむを得ないかもしれませんが、いろいろな面での自粛。しかし、経済の回復は重要です。

被災地域の経済の活性化に繋がることには、積極的に協力したいと思います。政府の動向が不安定の中での長期戦。不自由のない今までの生活を見直しながら、皆で、復興に向け頑張りましょう。

この気持ちを持ち続け、さらに、この協力の輪が大きくなる事、継続される事を願ってやみません。



危機管理を検証し復興を

熊谷東 RC 会長 **細川 末廣**

例会でニュージーランド地震による語学学校の倒壊から日本でも昭和56年以前の建物は耐震強化を急がねばならないと話をした矢先、3月11日の東日本大地震が発生、生命の危機を感じ、立ちすくんでしまいました。テレビからの津波による家や車、街が流される映像に、まるで悪夢を見ているような時間でした。

震災後、三週間ぶりに例会を開くことができ、そこで「日本文化は自然との共生であると思ってきたが、この大地震から単に共生などおこがましい、もっと自然への恐れ、畏敬の念を持たねばと、この人智を超えた天災で思う」とスピーチ致しました。

震災から約1ヵ月過ぎた今日、天災、想定外と短絡化することに原発事故からも疑問を持ちました。過去の津波から学んだか、原発の耐震性等人事を尽くしたか、検証しなければと思います。復興のために。犠牲者に合掌。



今出来る事を一刻も早く

熊谷南 RC 会長 **高田 直樹**

東日本大震災により、災害に遭われた方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

東北・関東地方に甚大な被害を与えたこの大地震は、津波により東北地方を壊滅させ、さらには原子力発電所による放射能汚染問題をもたらし、今や日本国内の経済・流通、そして環境等に深刻な被害をもたらしております。また国内に限らず世界的にも大きな衝撃・影響を与えております。

私事になりますが、私共の会社でも東北方面には多くの取引先があり、私も地震発生の数日後には現地に入り復旧計画を立て、4月に入ったら一斉に実施する予定になっていたところ、工事資材が不足しているという現状で、いまだに工事が進んでおりません。

被災地に対しても、「今、我々ができる事」を災害義捐金と合わせて考えて参りたいと思います。



新入会員のご紹介

(朝霞キャロットRC)



本澤 顕一
株式会社 アトラス

(紹介者)高橋 久男

(朝霞RC)



田中 武雄
農業

(紹介者)野島 七郎、細田 優

(朝霞RC)



細田 秋夫
有限会社 細田企業

(紹介者)野島 七郎、細田 優

(志木RC)



清水 一敏
株式会社 清一急配

(紹介者)西川 武重郎、市之瀬 正靖

(熊谷RC)



三野輪 明人
(株)JTB首都圏 熊谷支店

(紹介者)前嶋 修身、V

(川越中央RC)



沼田 栄一郎
不動産(マンション)賃貸

(紹介者)久保田 一男

(川越中央RC)



間仁田 俊行
三菱電機情報ネットワーク(株)

(紹介者)内田 芳照

(加須RC)



齋藤 武治

(紹介者)湯橋 十膳、梅澤 三男

(熊谷籠原RC)



大木 光二
ブルデンシャル生命株式会社

(紹介者)茂木 祐一



表彰

ベネファクター



入江 伸彦
(朝霞RC)



橋本 恭一
(行田さくらRC)



表彰

米山功労者

6 回



神山 昌之
(志木RC)

6回



内田 栄信
(志木RC)

5回



網島 政雄
(志木RC)

4回



横川 福治
(行田さくらRC)

4 回



小澤 俊夫
(加須RC)

4 回



加庭 寿久
(加須RC)

4 回



星野 博之
(志木RC)

4 回



岩下 正基
(志木RC)

4 回



岸尾 守
(志木RC)

3 回



高橋 伊佐夫
(加須RC)

3 回



相馬 敏克
(志木RC)

3回



清水 和之
(志木RC)

2 回



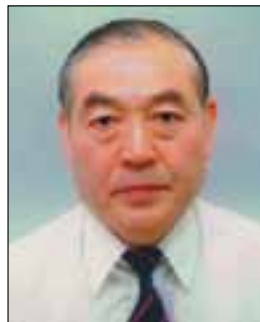
井上 博司
(行田さくらRC)

2 回



奥富 喜平
(狭山中央RC)

2 回



長谷川 澄三
(志木RC)

1 回



島崎 義春
(行田さくらRC)

1 回



國分 学
(志木RC)



出席率・会員数報告

	クラブ名	例 会 数	出席率 (%)		会員数 (人)										女 性 会 員
			3 月	通 算	年 初 (7/1)	3 月 末 現在	3 月 入 会 数	3 月 退 会 者	本 年 度 入 会 数	本 年 度 退 会 者	3 月 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	本 年 度 純 増 減	
第1グループ (1RC)	川越	3	82.8	83.8	85	82	0	1	1	4	-1	-3	0	0	
	東松山	2	63.2	72.8	34	36	0	0	2	0	0	2	1	1	
	小川	4	92.5	76.3	11	11	0	0	0	0	0	0	1	1	
	坂戸	4	93.3	91.5	24	25	0	0	2	1	0	1	0	0	
	越生毛呂	4	69.5	77.5	27	28	0	0	1	0	0	1	2	2	
	川越小江戸	2	100.0	94.8	17	16	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	川越西	3	72.7	77.8	17	14	0	0	1	4	0	-3	1	1	
	鶴ヶ島	4	75.0	74.8	30	28	0	0	0	2	0	-2	3	3	
	川越中央	2	81.3	81.6	31	30	0	2	2	3	-2	-1	0	0	
	坂戸さつき	2	71.4	74.6	21	22	0	0	2	1	0	1	5	5	
	東松山むさし	3	82.3	86.4	34	35	0	1	2	1	-1	1	4	4	
	小計		80.4	81.1	331	327	0	4	13	17	-4	-4	17	17	
第2グループ (6RC)	朝霞	5	97.8	99.8	35	36	2	0	2	1	2	1	0	0	
	ふじみ野	4	82.9	84.1	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	
	志本	5	94.2	94.9	50	50	1	0	1	1	1	0	0	0	
	富士見	3	79.2	84.7	45	43	0	0	1	3	0	-2	0	0	
	新座	3	88.9	88.9	27	28	0	0	2	1	0	1	3	3	
	和光	3	89.5	91.5	19	21	0	0	2	0	0	2	2	2	
	朝霞キャロット	3	87.2	90.2	11	13	0	0	2	0	0	2	0	0	
	志本柳瀬川	5	90.9	92.3	12	11	0	0	0	1	0	-1	4	4	
	新座こぶし	4	96.9	96.1	15	16	0	0	1	0	0	1	3	3	
	小計		89.7	91.4	230	234	3	0	11	7	3	4	12	12	
第3グループ (12RC)	入間	4	86.6	82.9	45	43	0	1	1	3	-1	-2	1	1	
	所沢	2	89.5	84.7	60	57	0	2	0	3	-2	-3	4	4	
	飯能	3	91.8	91.3	58	57	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	狭山	1	100.0	99.5	22	20	0	0	0	2	0	-2	1	1	
	新所沢	3	91.5	85.2	28	26	0	0	0	2	0	-2	1	1	
	日高	4	90.2	85.8	23	28	0	0	5	0	0	5	4	4	
	所沢西	4	84.3	92.1	43	43	0	0	1	1	0	0	1	1	
	新狭山	1	100.0	91.8	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	
	所沢東	3	95.3	89.2	38	39	0	0	1	0	0	1	3	3	
	入間南	2	78.8	89.2	35	35	0	0	0	0	0	0	0	0	
	所沢中央	2	92.3	89.6	37	37	0	0	2	2	0	0	0	0	
	狭山中央	3	89.2	82.6	32	32	0	0	0	0	0	0	5	5	
	小計		90.8	88.7	447	443	0	3	10	14	-3	-4	20	20	
第4グループ (12RC)	深谷	2	72.1	73.7	58	59	0	0	1	0	0	1	8	8	
	本庄	4	70.8	82.4	67	67	0	0	0	0	0	0	7	7	
	秩父	5	77.1	77.8	52	52	0	0	0	0	0	0	0	0	
	寄居	3	84.3	83.4	35	36	0	0	1	0	0	1	1	1	
	児玉	5	63.6	67.1	12	11	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	岡部	3	74.0	81.1	18	19	0	0	1	0	0	1	2	2	
	深谷東	3	68.8	69.7	64	71	0	0	9	2	0	7	0	0	
	上里	1	50.0	82.9	8	7	0	1	0	1	-1	-1	0	0	
	川本	4	86.0	92.2	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	皆野・長瀬	4	75.0	85.0	17	18	0	0	1	0	0	1	3	3	
	本庄南	3	76.8	83.1	20	22	0	0	2	0	0	2	0	0	
	深谷ノース	3	47.2	71.8	36	33	0	1	0	3	-1	-3	0	0	
	小計		70.5	79.2	399	407	0	2	15	7	-2	8	21	21	
第5グループ (10RC)	熊谷	4	63.0	77.9	89	91	2	0	6	4	2	2	3	3	
	行田	1	88.7	77.9	54	58	0	0	7	3	0	4	3	3	
	羽生	4	77.7	79.5	36	38	0	0	2	0	0	2	2	2	
	加須	3	96.4	86.8	37	38	0	0	1	0	0	1	1	1	
	熊谷西	3	71.8	83.1	21	21	0	0	0	0	0	0	1	1	
	行田さくら	4	77.9	77.6	39	40	1	0	2	1	1	1	0	0	
	熊谷東	3	88.9	92.2	33	33	0	0	0	0	0	0	2	2	
	吹上	5	91.6	92.4	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	熊谷龍原	4	92.3	90.1	27	26	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	熊谷南	2	72.5	71.7	28	29	0	0	1	0	0	1	1	1	
	小計		82.1	82.9	376	386	3	0	19	9	3	10	13	13	
54RC	クラブ会員数				1783	1797	6	9	68	54	-3	14	14	14	
	女性会員数		82.4	84.4	77	83	0	0	7	1	0	6	6	6	

5・6月のスケジュール

5月

7 土	国際親善奨学生第2次選考試験
14 土	国際親善奨学生第3次選考試験 次年度会員増強セミナー
15 日	鶴ヶ島 RC、30 周年 中止
21 土	国際大会 (～ 25 日) ブライダル相談会
22 日	小川 RC、45 周年 中止

6月

4 土	国際親善奨学生合格者アプリケーションガイダンス
11 土	5 回財団オリエンテーション 地区会合
12 日	米山学友総会
19 日	ブライダル相談会

編集部から

3月11日に発生した東日本大震災の支援活動の様子を、各クラブ会長にお尋ねしました。ここまで支援活動しているのかという原稿も戴き、感動を覚えました。単発の支援ではなく、息の長い復興支援のために、私たちができる次の支援は何かを探るひとつの材料になれば幸いです。

各クラブ会長からのメッセージにつきましては、原則として原文をそのまま掲載させて頂きました。

計 報



相澤 秀司様
(東松山むさしRC)

2011年3月24日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年60歳
ロータリー歴
1996年11月入会 (在籍15年)



田中 武雄様
(朝霞RC)

2011年4月3日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年61歳
ロータリー歴
2011年3月入会 (在籍1ヵ月)

鎌倉街道が繋ぐ2570地区の「和」

第11回 本庄・神川

美里町から本庄市へ入り、神川町を抜け、群馬県境の神流川までほぼ川越街道と平行に進みます。八日市あたりから八高線を渡り西に進むルートもあったようです。

本庄市に入っすぐ、時代はいきなり奈良時代に遡りますが、万葉集に載っている女性が詠った恋の歌にまつわる遺跡があります。「伝大伴部真足女の遺跡」①と「さらし井」②跡です。その時代からの文化の香りを感じさせますが、周囲はいたってのどかな田園風景です。

県境に至る推定ルート上に、鎌倉街道遺構を感じさせる風景は残っていませんが、かろうじて「鎌倉街道案内板」③や「広木の一里塚榎塚」④案内が、この辺を通っていたことを教えてくれています。

児玉駅近くの玉蓮寺の一隅に「日蓮上人御足洗いの井戸」があります。佐渡流罪になった1271年、まさに彼は鎌倉時代に、この「鎌倉街道上道」をたどり、この地で一夜を過ごしました。

駅からは八高線と平行に北西に進み、県境である神流川に至りますが、道筋は明らかではなく、時代を感じさせる石碑や石塚が数多く散在しているのを見ると、きっとこの通りも千年の昔には、秩父山系の北側に広がる田園の只中を通る街道筋⑦だったのでしょう。

所沢をスタートした埼玉県内の鎌倉街道上道は、護岸工事の進む神流川で群馬県へと引き継がれます。



伝大伴部真足女（おおもとのまたりめ）の遺跡

奈良時代に、この地埼玉から九州に防人として派遣される夫、檜前舎人石前（ひのくまのとなりいわさき）との別れを詠んだ大伴部真足女の歌1首が万葉集巻20に載っており、彼らの館跡。

さらし井

近くの「さらし井」と呼ばれる旧跡は、織った布を晒すための湧水跡で、往時の人たちが井戸端会議のように愛を語らったであろう歌が万葉集巻九に。

日蓮上人（にちれんしょうにん）

鎌倉時代、日蓮宗（法華宗）の宗祖。高僧でありながら波乱万丈の人生を送った。



ガバナー月信 第11号

2011年5月1日発行

今月の表紙：クラブ奉仕部門委員長
井花 富男(新狭山)

国際ロータリー第2570地区 2010-2011年度ガバナー 西川 武重郎

ガバナー事務所

〒353-0004 埼玉県志木市本町5丁目20番12号 サンシャイン志木1F

TEL (048) 485-3883

FAX (048) 485-3855

E-mail=info2010@mail.rid2570.gr.jp

Website=http://www.rid2570.gr.jp/2010/